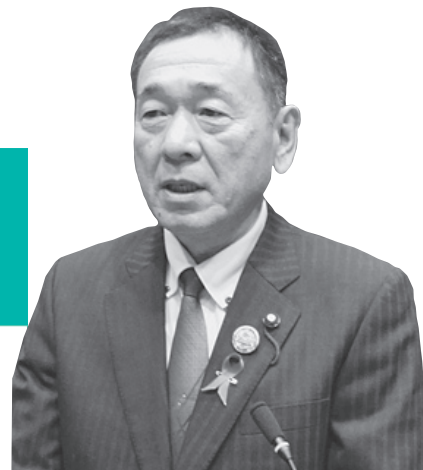




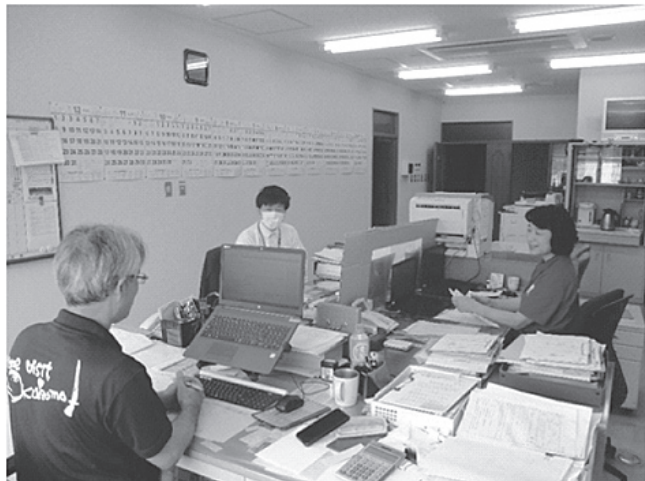
北村 千寿 議員

質問

過去5年間の中途退職者数は

総務課長

退職者57名の内29名



風通しの良い職場にはコミュニケーションが必要

質問 過去5年間の退職者数、その内の中途退職者数は。

総務課長 退職者は57名、内中途退職者は29名。

質問 中途退職者の内、他の自治体への就職は何人か。

総務課長 他の自治体への就職は5名。

質問 中途退職者が他の自治体に就職したことについて、どう受け止めているのか。

町長 正直残念。総合的に考えて他の自治体に魅力を感じて移られたらと思っている。

質問 昨年6月定例会でイクボス宣言、

今年3月定例会で健康経営宣言等を提案した。これらのキーワードは、働きやすい職場と人材確保と育成。職員が気持ちよく働き、最大限の能力を発揮できる職場づくりに向け、導入することはないか。

町長 社会ニーズや町民の要望も増加傾向で、役場の業務自体増加している。スクラップ&ビルドが必要だが、スクラップ



増加しているカスタマーハラスメント

プは町民、議会の理解をいただくことが数多くある。ビルドはDX推進で対応。勤務について、長距離通勤者が多いので時差出勤を検討する。また、職員への人格等を否定するカスタマーハラスメントも増えており、職員の心の負担を減らすために、職員配置表など公表していたものを見直す時期にきている。

一方、縦割りを外

して職員同士が協力し合う職場、若手のチャレンジを積極的に採用していく職場に向け取り組む。

再質問 県では、働きやすい職場づくりは組織のナンバー2が担当。仲佐副町長が感じている奥出雲町の状況、働きやすい職場に向けた考えは。

副町長 風通しの良い職場、職員のスキルアップに向け、役場内でコミュニケーションに努め、組織力を上げていく。

※カスタマーハラスメント（カスハラ）企業や役所に対して理不尽なクレーム・言動をすること